

令和5年3月6日
新しい国際コンテナ戦略港湾政策の
進め方検討委員会
(第3回) 資料1-3

神戸港の今後の取組み

2023年3月6日
神戸市港湾局

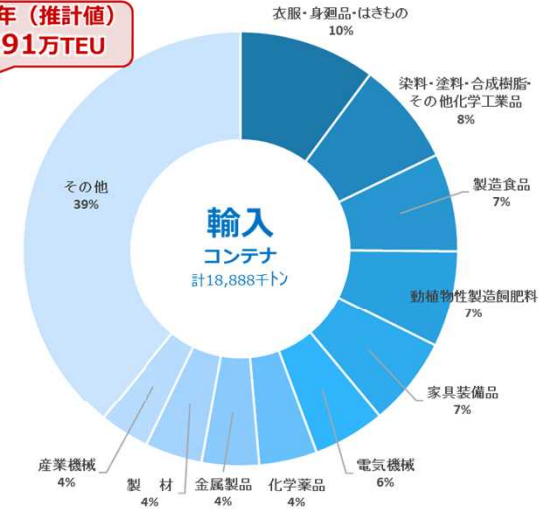
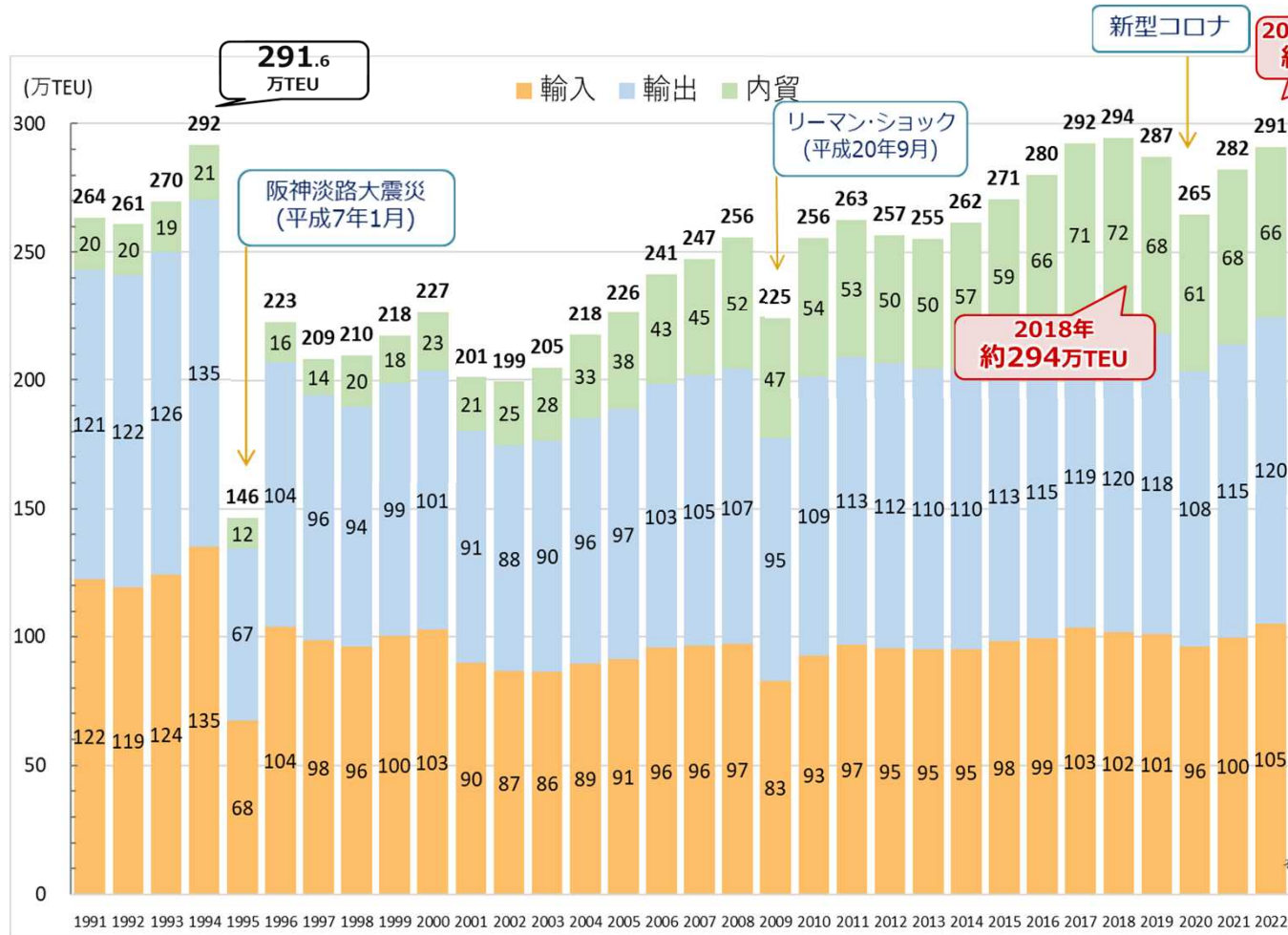
神戸港ターミナル配置図



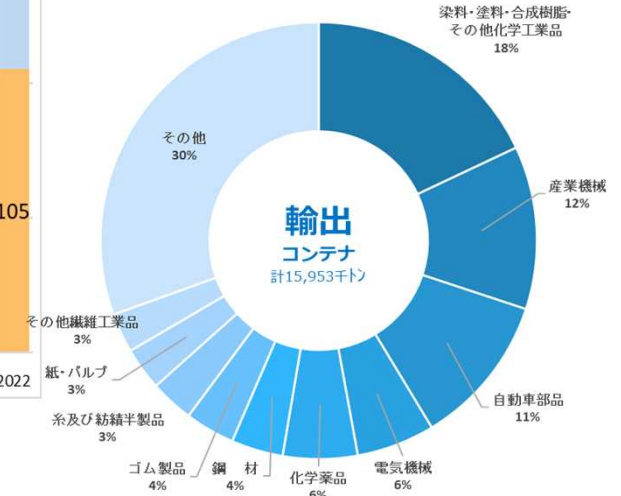
神戸港のコンテナ貨物取扱量



品種別コンテナ貨物取扱量 (令和4年11月累計)



前年比4.0%増



前年比2.0%増

創貨①



<現状>

- ・これまで、コンテナターミナル背後地において、国の支援制度を活用して流通加工機能を有する高度な物流施設を整備
- ・神戸港における利用可能な港湾関連用地はわずかとなっている。
- ・摩耶ふ頭や新港東ふ頭などの倉庫・上屋では、施設が老朽化する一方で建ぺい率、容積率が不足し、同規模の施設の建替えが困難

再編・高度化を促進する区域内的の倉庫の築年数

築年数	棟数	割合(%)
50年以上	52棟	(83.9%)
30年～50年	2棟	(3.2%)
30年未満	8棟	(12.9%)
合計	62棟	



<今後の取組み>

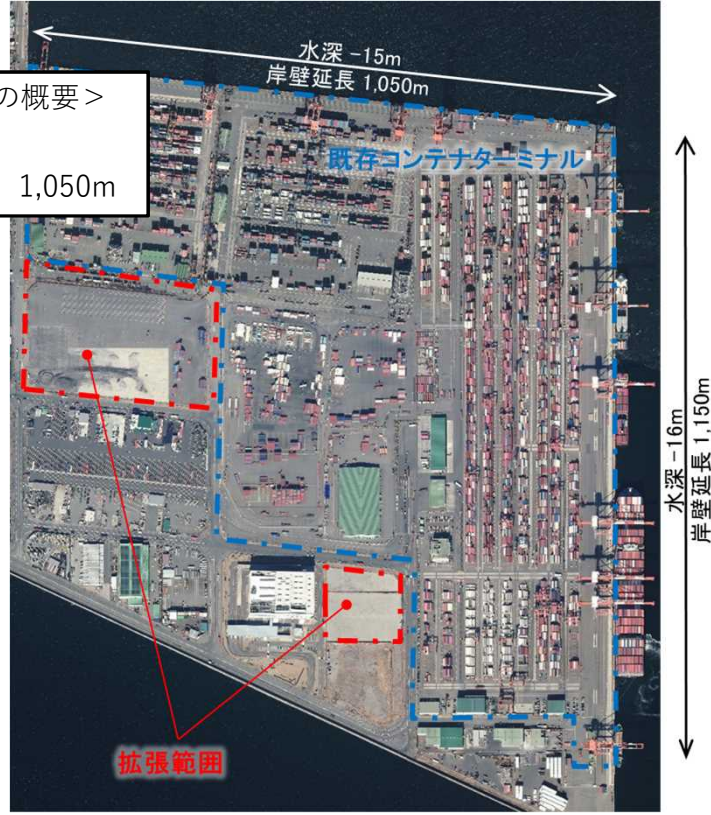
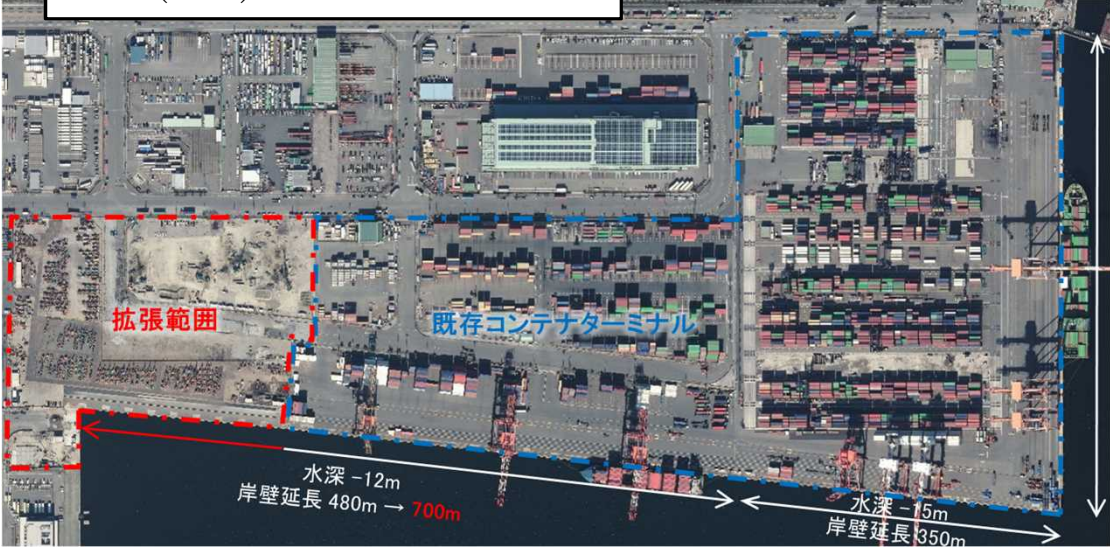
- ・引き続き、コンテナターミナル背後地では、賃貸契約が終了する土地を活用して、流通、加工、製造機能の高度化など付加価値を高める企業の集積を図る。
- ・新たな事業用地の確保や民間活力の導入手法を含め、老朽化した倉庫・上屋が集積するエリアの再編による物流機能の高度化、効率化の促進
- ・建ぺい率、容積率の緩和（建ぺい率：60→80%、容積率：200→300%）
- ・老朽化倉庫の建替え促進の為、国による補助制度の新設や拡充を求める。

競争力強化① (ターミナルの一体利用)



<PC18コンテナターミナルの概要>
 荷さばき地 28ha → **34.5ha**
 岸壁 (-16m) 400m
 (-15m) 350m
 (-12m) 480m → **700m**

<PC13~17コンテナターミナルの概要>
 荷さばき地 79.2ha → **89.4ha**
 岸壁 (-16m) 1,150m (-15m) 1,050m



<今後の取組み>

- ・大型船の着岸や積替の利便向上に向けたバースの柔軟な利用、近接する岸壁間でのガントリークレーンの相互利用による荷役効率の向上に資するターミナルの一体利用
- ・国、阪神国際港湾(株)とCONPASの導入に向けた取組みを進めるとともに、周辺道路対策を実施するほか、集中管理ゲート導入やRTGの遠隔操作（国による補助制度の拡充を求める）など港湾物流の効率化や港湾施設の適切な予防保全型の維持管理

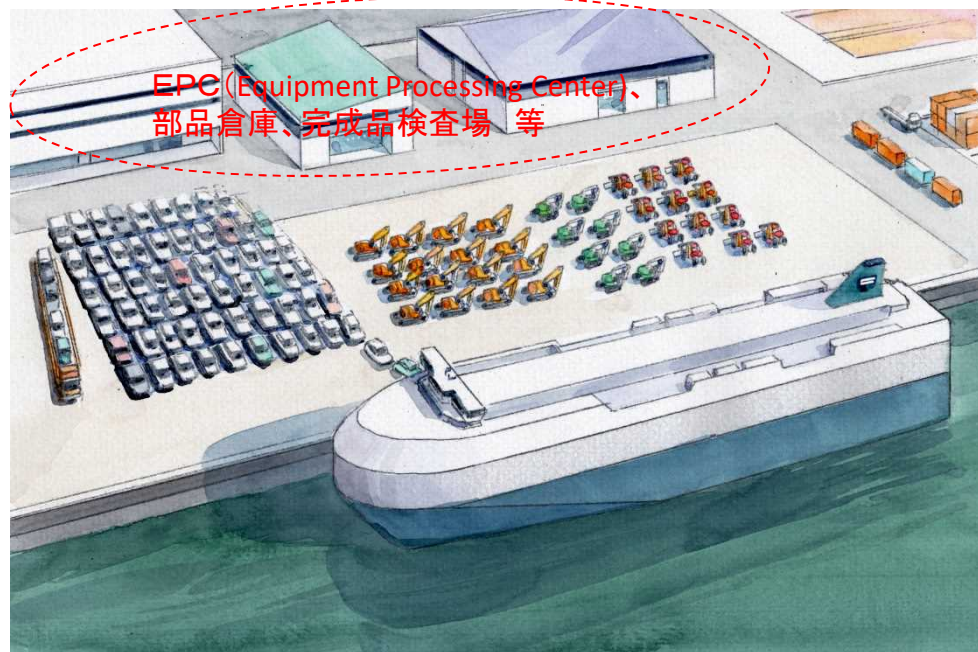
競争力強化②



<今後の取組み>

- ・コンテナと共に完成自動車や建設機械等のRORO貨物や重量物等の多様な貨物を取り扱う在来バースの再編・強化による複合ターミナルの形成
(複合ターミナル整備に対し、現行の戦略港湾政策と同規模の国の支援を求める)
- ・輸送手段のマルチモード化
- ・大阪湾岸道路西神部の整備促進などの広域輸送ネットワークの強化

複合ターミナルイメージパース



※海外の事例

●Manzanillo International Terminal(パナマ)





ご清聴
ありがとうございました